

## 令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月10日

団体所在地 世羅郡世羅町伊尾1953-1  
団体の名称 世羅町  
施設名 いお保育所  
所長 宮本 英明

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・鮎の放流体験
- ・お花見散歩
- ・尾首城跡散歩
- ・虫探し
- ・田んぼの生物観察
- ・夏野菜苗植え
- ・柏の葉採り散歩
- ・虫探し

#### 【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・水遊び
- ・プール遊び
- ・夏野菜収穫
- ・シャボン玉遊び
- ・アユ漁見学
- ・秋の七草探し

#### 【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・尾首城跡散歩と遊び
- ・彼岸花お花見散歩
- ・自然保育アドバイザー研修(宝物探し、自然物によるクリスマスケーキ作り)
- ・焼き芋会

#### 【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・焚火会 焼マシュマロ
- ・雪遊び
- ・尾首城跡散歩遊び
- ・干し大根作り
- ・農業法人収穫体験
- ・凧揚げ

## 活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・芦田川上流漁業協同組合が行う稚鮎の放流体験に参加した。年長児は稚鮎をバケツに入れてもらい、小学生と一緒に水辺にいき放流した。
- ・夏には15cm以上に育つことや、河川の水質や環境に関心を持って過ごしてほしい事等漁協の人から話を伺った。
- ・放流後は散歩途中に、その都度川の様子を眺め鮎が成長して泳ぐ姿に関心を持って観ていた。
- ・8月には投網漁を見学し育った鮎も水槽に入れ観察できた。
- ・秋には産卵の爲に川を下り鮎の姿が見られなくなり来春の遡上や放流事業を楽しみに過ごしている。

### 【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・春に植えた夏野菜（ピーマン、トマト、カボチャズッキーニ、スイカ、ポップコーン等）の栽培や収穫を各年齢、児童で行った。
- ・収穫した野菜は調理室に運び、給食食材として使用して貰いみんなで頂いた。
- ・集めた草や落ち葉を積み上げ堆肥にしている、その中で過ごすミミズや虫の幼虫、バッタ等の畑の生き物にも関心を持ち、野菜の成長を観ながら他の動植物との関係についても知る機会にもなっている。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・所から400mの場所にある尾首城跡に年間を通じて散歩に出かけて、芝滑り、山登り、虫探し、栗拾い等、楽しんでいる。
- ・不整地での鬼ごっこ等転倒する児童も多かったが年間を通じて遊びを繰り返すうちに転倒せず元気に走り回っていた。
- ・草刈の等の環境整備をされている地域の方々から栗や柿をいただいたり関わりを持つことができた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・1月に凧作り、凧揚げを行っている。園庭や保育所隣の自治センターグラウンドや尾首城跡の広場に行きおこなった。
- ・最初は走り回って他者と糸が絡まったりしていたが、風向きをみて揚げられるようになった。
- ・条件が良いと80メートルのタコ糸が全部出ていきそうになっていた。
- ・参観日に親子で行い、保護者も児童と一緒に夢中になって行っていた。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
  - 自然保育のアドバイザー研修を受けた。
  
- ・ 地域との関わりについて
  - 芦田川上流漁業協同組合の稚鮎放流体験に参加した。
  - 尾首城跡を管理されている地域の方々から柿や栗をいただいたり七夕の笹をいただいたりした。
  - 保育所の裏の休耕田をお借りして水を入れさせてもらい、オタマジャクシや水生昆虫等の観察をおこなわせていただいた。
  
- ・ 保護者との関わりについて
  - 1月の参観日には親子で凧揚げを行った。
  
- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

URL	
-----	--